

落合小学校 平成26年度 校内研究

1 研究主題

学びあい高めあう児童の育成を目指して

～「一人ひとりがよく考える場面」を想定した授業づくり～

2 主題設定の理由

(1) 今日の課題から

平成23年度に施行された現行学習指導要領は、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の3つの要素からなる「生きる力」をバランスよく育むことをその理念としている。これからの『知識基盤社会』の時代において、この「生きる力」を育成することがますます重視されているのである。本校のテーマである「学びあい高めあう児童」を育成するためには、子ども自らが意欲的に対象に関わり、自らの意志で学ぼうとする子どもを育てることが基本となる。そのために、授業を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力といった「確かな学力」を育てることが学校教育目標の具現化につながるものであると考える。

(2) これまでのあゆみから

本校では、この2年間、『教えて考えさせる授業』の手法を取り入れた「授業づくり」の研究を進めてきた。意欲の面でも学力の面でも個人差が大きく、様々な子ども達がいるのが本校の児童の実態である。教えるべき内容と手立てを明確にし、理解を深めるための課題設定を吟味する中で、子ども一人一人に目を向けた授業づくりがなされてきた。その結果、子ども達の学習内容に対する理解度や意欲が高まり、深く考えようとする素地ができつつある。

そこで今年度は、～『一人ひとりがよく考える場面』を想定した授業づくり～のテーマのもと、研究内容を絞り込んで進めていきたい。授業を通して、子ども達一人一人が、これまでに培った知識や技能を生かし、自分の考えを持つことができるようにしていきたい。そうした経験を積み重ねることで、自分の力で課題をとらえ、解決しようとする力を育むことにつなげたい。授業づくりの根幹にあたっては、子ども達が意欲的に取り組めるよう、課題の内容や提示の仕方といった学習過程を工夫していくことが大切である。具体的には、発問の工夫、子どもが自ら考える場面の設定、発表場面のもち方などについて研究していくようにする。そして、学び合いの基盤となる聞く姿勢やノート指導にも取り組む必要性が出てくるであろう。

このテーマに迫るために、焦点化した目標設定をブロックごとに行い、研究を積み上げていきたい。ブロックは、低・中・高学年のブロックに全員が分かれて所属する。そして、それぞれの取り組みを交流し合い、情報交換し合う中で、系統性を確かめたり互いに刺激し合ったりして、実践を積み上げていきたいと考える。これまで進めてきた「一人一実践」の取り組みを今年度も続けていきたい。実践をすることが、学校全体の活性化につながり日々の授業に効果的に反映されていくと思う。授業づくりを中心に据えた研究を深めることにポイントを絞り込み、形や体裁にとらわれない校内研究にしていけたらと考える。

3 研究内容と方法

～「一人ひとりがよく考える場面」を想定した授業づくり～を中心に据えて、ブロックに分かれて研究を進める。

◎ブロック 低・中・高学年のブロックに全員が所属して研究を進める。

◎具体的な内容

- ・全体研究会では、研究の方向性や方法、計画などについて検討し確認し合う。
- ・ブロック研究会では、ブロックごとにテーマを設定し、同じ課題を持って研究する。
- ・教科は統一せず、ブロックで設定したテーマに沿ってそれぞれ決める。
- ・授業案の形式は、自由とするが、児童の実態は詳しく把握し、テーマに迫るための手立てを盛り込む。(単元全体の指導計画、思考の流れ、課題の連続性が分かるものとする。)
- ・全体での授業提案は、各ブロック一つとする。
- ・全体研以外の授業は、ブロック内で提案し、参観し、実践報告をする。その際の自習体制については、教務と相談の上で配慮して行う。
- ・夏休みの研修(講師を招いての研修会、情報機器の研修など)
- ・先進校視察

※学力向上、家庭学習、Q-U検査の取り組み、生活・学習のきまりなどについては、全校体制での取り組みとし、校内研究とは別個にする。

4 研究日程

回	月	日	曜日	形態	内 容
1	4	23	水	全	今年度の研究の方向性について(研究主題・研究計画等)
2	4	30	水	全	研究組織、関連資料・指導案について、授業者の決定
3	5	21	水	全	研究の具体的な実践内容と指導案について ・テーマの設定と研究計画づくり
4	6	11	水	全 ブ	学習会「一人一人が考えをもてる授業とは・・・」(仮題) 講師 内藤大輔指導主事
5	6	18	水	全	・楠木先生を招いて示範授業、学習会(授業づくり、学習規律について)
6	7	2	水	ブ	授業案検討会 算数科「四角形を作ろう」 授業者 4年 小林 由加里教諭
7	7	9	水	全	研究授業① 算数科「四角形を作ろう」 授業者 4年 小林 由加里教諭 指導助言 県総合教育センター・島 衛一研修主事
8	7	24	水	終日	ブロック研究(授業案づくり)
9	8	18	水	全(前) ブ(後)	研修会「発達障害のある児童の心理的疑似体験」 講師 山本 由美子教頭 「特別支援教育の現状と授業づくり」講師 近藤 晴樹指導主事
10	9	3	水	ブ	ブロック研究(授業案づくり)
11	9	10	水	ブ	ブロック研究(授業案づくり)
12	10	8	水	ブ	ブロック研究(授業案づくり)
13	10	15	水	全	授業案検討会 国語科「大造じいさんとガン」 授業者 5年 矢竹 亮教諭
14	10	29	水	全	研究授業② 国語科「大造じいさんとガン」 授業者 5年 矢竹 亮教諭 指導助言 葦崎小学校・高瀬 有治先生

15	11	12	水	全	授業案検討会 算数科「かけ算(2)九九をつくろう」 授業者 2年 石川 靖人教諭
16	11	19	水	全	研究授業③ 算数科「かけ算(2)九九をつくろう」 授業者 2年 石川 靖人教諭 指導助言 県総合教育センター・島 衛一研修主事
17	1	21	水	ブ	実践発表・報告会、ブロックのまとめ
18	1	28	水	全	ブロックの報告、1年間の反省と来年度に向けて
19	2	25	水		研究のまとめ

※詳細は 落合小学校 平成26年度 研究紀要に掲載